

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)8月 28 日
所属名:高島農産普及課
番号:H24013
発信者名:三木



獣害防止柵「おじろ用心棒」施工研修会を開催

個人でも取り組みやすく、高い効果が期待できる獣害防止柵「おじろ用心棒」の施工(作り方)研修会を、8月23日(金曜日)、高島市マキノ町浦(うら)集落の現地ほ場において直売所出荷者を対象として開催しました。

高島市では、これまでの各種取組により、野生獣による農作物被害は減少傾向にありますが、被害は未だに無くならず、特にニホンザルについては、これまで出沒していなかった集落における被害の発生や特定の集落への被害の集中が目立つようになってきました。

一方、集落住民の高齢化、兼業化の進展により、これまでのように集落住民が一丸となって実施する獣害防止柵の維持管理や追い払い等の対策実施が困難となりつつあります。

このような状況のもと、獣害による営農意欲の減退を防ぎ、地域活性化の一助とするために個人でも取り組みやすく、ニホンザルをはじめとする多様な獣種に対して高い効果が期待できる獣害防止柵「おじろ用心棒」の施工研修会を開催しました。

研修会には、直売所出荷者、関係機関担当者など12人の参加があり、当課より「おじろ用心棒」の施工上のポイントについて実演を交えて説明を行いました。参加者からは、獣害防止効果のほか、必要資材の調達や設置費用等について質問が出されるとともに、参加者同士による意見交換が活発に行われていました。

今後は、市、JA、農業共済等の関係機関に加え、今回協力いただいたマキノ地域の直売所(マキノピックランド、道の駅「マキノ追坂峠」)と連携をとり、被害状況や個別ニーズにあった支援を行っていきます。

